

天皇皇后両陛下が 五日市郷土館を ご視察になりました



天皇皇后両陛下が1月23日の午後、五日市郷土館をご視察になりました。当日は、約千人の市民が沿道に詰めかけ、両陛下をお迎えしました。両陛下は車中から手を振られ、歓迎の声にこたえていらっしゃいました。

五日市郷土館では、日本で初めてフー・レンス・ナイチンゲール記章を受章した萩原タケ女史やミエゾウの化石、五日市憲法草案などの展示をご覧いただきました。中でも、五日市憲法草案の関係資料である、討論題集（学芸講演会の青年たちが討議したテーマに関する資料）の前では、両陛下はご熱心にお言葉を交わされながら内容をご覧になりました。

皆さんも五日市郷土館を訪れてみてはいかがでしょうか。東京にありながら、歴史、文化そして豊かな自然に恵まれたあきる野市を再発見するきっかけになるかもしれません。

緊急速報メールで 一斉配信



非常時に 緊急情報を 素早く確実に

昨年の東日本大震災を機に、市民の皆さんが災害などの非常事態をいち早く察知し、自らの安全を確保するための確実な情報伝達手段の整備が強く求められています。市では、地域の災害・避難情報などを、市内の携帯電話に一斉に配信できる緊急速報メールの運用を開始します。すでに取組を進めている地域防災力の強化策と組み合わせ、災害に強いまちづくりを推進します。

災害・避難情報を
緊急速報メールで
市内に一斉配信

東日本大震災以降、大規模な災害時に緊急情報を確実に伝える手段の整備が、地域の防災力を高める重要な課題となっています。

市では本日から、市内を配信エリアとして、地域の緊急情報を携帯電話（NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイルの3社）に、回線混雑の影響を受けずに一斉に配信する災害・避難情報緊急速報メールの運用を開始します（受信登録の手続き不要）。

この緊急速報メールと防災行政無線の放送、安心メールを組み合わせることで、市民だけでなく、仕事や行楽などで一時的に市内を訪れている方にも緊急情報を伝達でき、土砂災害や河川の氾濫などの危険が差し迫った際の迅速な避難行動などに効果を発揮します。

緊急速報メールの詳しい内容は2面に掲載

災害に強い
まちづくりを推進

市では、災害に強いまちづくりを推進するため、地域防災力の一層の強化と、

環境都市あきる野



森っこサンちゃん
郷土の恵みの森づくりを進めよう

今号の主な記事

- ・高額医療・高額介護合算制度のお知らせ... 2面
- ・平成23年度地域懇談会... 3面
- ・交通災害共済加入受付... 3面

2月の市税の納期
○国民健康保険税 第8期

今後、市民の生命と財産を守るために、引き続き地域と連携した防災力の強化に取り組めます。地域防災課防災安全係

市の防災体制の改善・充実の取組を進めています。市民の皆さんの防災意識が高まり、防災の基本である「自助」「共助」の考えも徐々に浸透し、昨年11月に市内各地で同時に実施された総合防災訓練には、過去の実績を大きく上回る合計8千人近い方が参加しました。訓練では、防災・安心地域委員会や町内会・自治会の自主防災組織により、参加者のリスト作りや地域に配備された無線機による通信訓練など、新たな試みも数多く実施され、地域特性の把握や避難場所運営の課題の洗い出しなども行われました。一方、市の防災体制や機能を強化するため、公共施設の耐震化の促進や備蓄資機材の充実、局地的集中豪雨に備えた雨量計測器の設置なども行いました。